

脳神経外科後期臨床研修プログラム

1、一般目標

脳神経や脊髄などの疾患に対して的確な診断、治療を行うことのできる脳神経外科専門医となるため、必要な知識と技能を取得する。

2、行動目標

- a) 脳神経、脊髄疾患に対する診察、検査を説明できかつ実践できる。
- b) 脳神経、脊髄疾患に対する治療法を説明できかつ実践できる
- c) 脳神経、脊髄疾患に対する外科的治療の適応を説明できる。
- d) 脳神経外科治療法を説明でき、実践できる。
- e) 脳神経、脊髄疾患について上級医と議論し、適切な対応ができる。
- f) 症例検討会や学会などで発表できる。
- g) 患者および家族に対して、疾患の説明や治療法、合併症などについて適切に説明できる。

3、研修期間

原則として研修開始から専門医試験受験までの4年間とする。

4、取得可能な資格

脳神経外科専門医

5、研修内容

初期研修で習得した知識や技術を元に、脳神経外科専門医の取得に必要な臨床経験を積んでいきます。研修期間は血管疾患、脳腫瘍、機能的脳神経外科、脊髄外科、小児脳神経外科、脳血管内治療を中心に学びます。その他、当院と関連のある大学病院や関連病院との連携も行い、専門医を取得するための必要な知識、技量を修得するようにいたします。

また、大学院に入学希望の際には、個々に相談に応じます。

研修内容の例

脳神経センター 後期研修プログラム
1年目：頭部外傷・脳卒中の救急医療
脳神経外科の術前・術中管理、脳血管撮影
頭蓋骨陥没骨折・急性硬膜外・硬膜下血腫除去の手術
水頭症手術
開頭・閉頭術
2年目：急性期血栓溶解療法（t-PA療法）
脳内血腫除去術

3年目：神経内視鏡
良性脳腫瘍手術
(小児脳神経外科・定位脳手術・脊椎・脊髄外科)
4年目：脳動脈瘤直達術
悪性脳腫瘍の手術
脳動静脈奇形の手術
専門医資格取得

6、プログラム指導責任者

副院長兼脳神経センター長 近藤 勉（日本脳神経外科学会専門医）

7、プログラムの修了認定

原則として脳神経外科専門医試験合格をもって終了とする。

8、その他

脳神経外科専門医を取得後さらに subspeciality としての脳卒中専門医、脊髄外科専門医、神経内視鏡技術認定医、脳神経血管内治療専門医などの取得が可能となります。